

最近の症例から (20) 一歯根嚢胞を疑わしめた下顎前歯部エナメル上皮腫の一例—

黒岩博子, 岡本茂雄, 上松隆司

松本歯科大学 口腔外科学第2講座 (主任 山岡 稔 教授)

患者: 36歳女性

初診: 平成6年7月12日

主訴: 下顎前歯部歯肉頬移行部の腫脹

家族歴, 既往歴: 特記すべき事項なし.

現病歴: 平成6年5月中旬頃より下顎前歯部に違和感を覚え2]部の腫脹, 疼痛を主訴として某歯科医院を受診した. 単純X線診査の結果2]根尖部にX線透過像を認めたため当科を紹介され来院した.

全身所見: 特記すべき事項なし.

局所所見:

口腔外所見: 顔貌は左右対称性, 顎下リンパ節は小豆大のものを両側に各1個触知, いずれも可動性で圧痛は認められなかった.

口腔内所見: 下顎前歯部歯肉頬移行部の発赤, 腫脹, 圧痛はみられず2]打診痛は認められなかった. また2]は根管充填されていた.

X線所見: 1]は根尖相当部に境界不明瞭なX線透過像, 2]は比較的境界明瞭な単房性, 類円形のX線透過像を認め, 根尖のわずかな吸収像がみられた (写真1).

臨床診断: 2] 歯根嚢胞

処置および経過: 平成6年7月12日外来にて2]部嚢胞摘出術および歯根端切除術を施行, 病理組織学的検査の結果2]部についてはエナメル上皮腫の診断を得た (写真2).

病理組織学的所見: 1] 歯根肉芽腫

2] エナメル上皮腫



写真1: 初診時デンタルX線写真

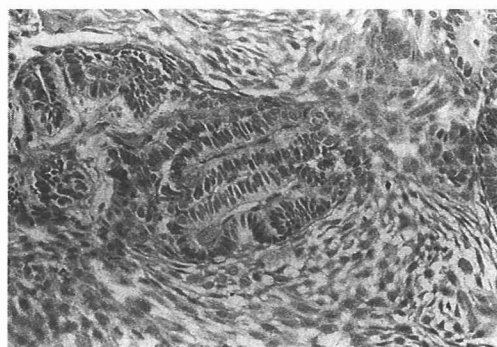


写真2: 摘出物の病理組織像